



NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク ^{はせべまこと} 長谷部真 氏より

ウィンドファーム豊富は天塩郡豊富町の東部丘陵沿いにあります。ここは11-12月にロシアから来る絶滅危惧種オジロワシ・オオワシの渡り経路にあたり、風車への衝突が懸念されます。また、日本で唯一繁殖する草原のタカ、チュウヒが事業計画地内で繁殖し、主に4月から8月まで滞在します。チュウヒは事業計画地内を営巣地及び餌場として利用しているため、風車の建設によりチュウヒの繁殖への影響が懸念されます。チュウヒは低空で飛ぶ印象がありますが、捕食者などに対する警戒時や移動時には風車の衝突する可能性がある高い場所を飛行します。チュウヒは日本で絶滅危惧種に指定されており、150つがい程度しかおらず、その1/3程度がサロベツ周辺で繁殖しています。サロベツの国立公園内や保護区などで繁殖するチュウヒは全体の1/3にとどまるため、保護区以外におけるチュウヒ保護が今後の保全活動の鍵となります。

「わたしたちから皆さまへのお願い」

北海道豊富町有明地区は、夜になると虫と牛の鳴き声しか聴こえません。数軒の酪農家の家からの灯り以外は、夜空には満天の星が輝き、天の川まで見渡せる澄み渡った空気です。

この手つかずの自然が残る集落で、酪農しながら子どもを育てたいと夢を抱いて移住してきた家族が暮らしています。そこから1kmも離れていない小高い丘に、風力発電が8基建つとどうなるでしょうか。

風力発電には航空障害灯がついていて夜中点滅します。そしてブーンブーンという音と振動が届きます。わたしたちには、ここでどんな暮らしがしたいか、強い思いと覚悟、そして願いがあります。

これ以上、都会の電気の為に地方の自然や暮らしを犠牲にしないでほしいです。

事業者に「ここには建ててほしくない」という意志を伝えるために、署名を集めることにしました。

みなさんの一筆一筆が、この地区の未来につながります。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

北海道豊富町有明地区の風車建設に反対する連絡会



現在、賛同団体・賛同人を募っています!

自然にやさしいはずの風力発電が貴重な自然を壊し、これまでのように暮らせなくなるような計画に地域住民として声を上げていきます。全国からご賛同を、引き続きよろしくお願いいたします。

【賛同団体】風力発電の真実を知る会/一般社団法人 北海道自然保護協会/AKITA あきた風力発電に反対する県民の会/石狩湾の風力発電を考える石狩市民の会/いのち環境ネットワーク/小樽・余市の巨大ウィンドファームの計画について考える会/札幌大気汚染測定連絡会/道北の自然と再生エネルギーを考える会/日本科学者会議北海道支部大規模風力問題研究会/日高鳥類研究所/能代・山本洋上風力発電を考える会/風車はもういらぬ@秋田/フェアビジョン編集局/由利本荘・にかほ市の風力発電を考える会

【賛同人】石狩市議会議員 神代知花子/齊藤慶輔(獣医師)/曾我久子(札幌市)/種田昭夫(札幌市)/富沢仁(札幌市)/広谷妙子(札幌市)
(五十音順)

●全国いたるところで大規模風力発電が計画されています。ぜひ情報交換をして、全国でつながりましょう。

事務局：風力発電の真実を知る会 代表 佐々木邦夫

〒097-0011 稚内市はまなす2丁目7番18号 電話 090-2814-4953

E-mail : ariake-toyotomi@winpow-comaga.kilo.jp

Facebook ページで発信しています！ 検索 [北海道豊富町有明地区の風車建設に反対する連絡会](#)

